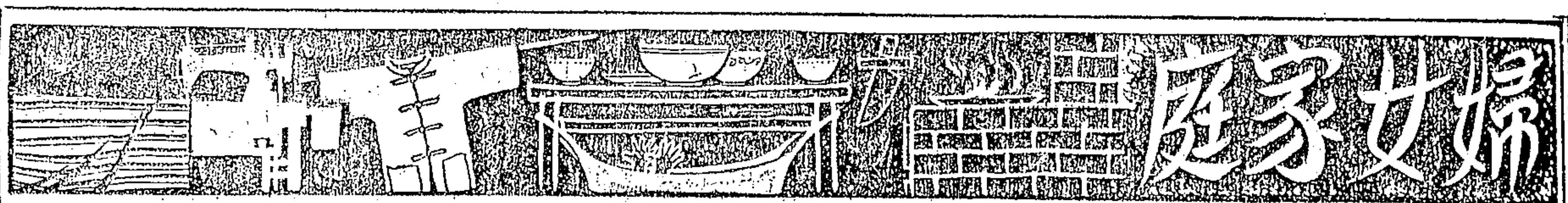


漫談香雲紗

臺灣的新興事業

臺灣的棉產很少，紗布一項，必需仰藉省外輸入，中國農村復興聯合委員會有鑒於此，最近協助中國紡織建設公司自日本購買機器在苗栗設立紡織工廠，利用本省自產蠶絲，製造香雲紗，供應本省需要，解決民生的第一項「衣」的問題。

所購置的機器中，除電織綢機外，有一部份是手工織機，使用手工織機的目的，是預備訓練農村婦女，提倡家庭手工業，這是極有前途的新興事業。

香雲紗的種類

在炎夏的中國內地，香雲紗是很普遍的衣料。牠的產地是廣東，香雲紗分有二種，一種是拷綢，以素綢製成的，一種是香雲紗以花綢製成的，至於臺灣最近製造的香雲綢，是較前二種稍厚一點，這三種的品質和製法，却是完全相同，所以這裡仍習慣的叫牠為香雲紗。

製造原料

無論是綢，紗或綢的原料都是蠶絲。其他的製造原料，就是薯莨和皂礬，原是用廣東珠江三角洲一帶的河泥做塗布的原料，現在却因臺灣的河泥中含沙太多，不適採用而改用皂礬，成本更見減輕。

製造方法及過程

先用生絲織成綢，浸在薯莨汁裡，經過相當的時間後，取出晒乾，再次投入薯莨汁裡浸透，這樣返復浸晒，二三十次後，綢的顏色已被染成深紅，再用皂礬（廣東用河泥）塗在布深紅色的表面，這種深紅色綢的另一面不久以後便變成光澤的黑色，這就是香雲紗的成品。

說明：瀝撓花機橫針與竪鈎之構造極要事前決定製織全幅經數再定每根竪鈎懸掛通絲若干根每通絲穿經一根則可利用後板打孔與否使橫針轉致竪鈎升洗織成各種花樣之香雲紗

香雲紗的特點

香雲紗在中國華南各地的民衆，非常喜愛穿的，因為牠具有和其他衣料不同的優點：（一）洗滌時不用肥皂，只須在水中放點茶葉，漂洗以後，汚垢自除；（二）每次洗後，懸掛陰晾，自然平貼，無需熨燙；（三）普通塵埃，不易附着，如日久脫拷，可以再上莨復原；（四）堅牢耐穿，不易破損，

香雲紗的經濟價值

織造香雲紗除了可以解決本省民生的一部問題，還有不可忽視的更大的經濟價值：（一）和因蠶絲的需要量增加，農村和山地的同胞們，可以提高栽桑養蠶的興趣，改善他們的生活；（二）發展家庭手工業，並且因為山胞們改事蠶桑，不再專賴出售薪炭為生，藉以保護山林；（三）節省每年因紗布進口所消耗千百萬美元的外滙，更進一步還可在香雲紗增產後除供給本省服用外，藉輸出以增加外滙。

一件衣服，可穿數年（……省溫和地帶，氣候晝暖夜涼，春夏秋三季均可服用。

兒童吃睡習慣

兒童的健康能造成幸福的家庭，富强的國家。因此，負有教養兒童責任的主婦們，應當明白它的重要性，關於教養兒童和促進他們的健康，在這裡且談兒童的吃睡問題，吃睡適宜與否能影響兒童身心的發展，這習慣應從小養成。

食無節制是最妨害兒童健康的，過量容易發生滯食的危險，缺量能阻礙兒童的發育。所以，從事保育兒童的主婦們應有判決食量的多寡和選配的能力，使養成兒童們有良好的習慣。

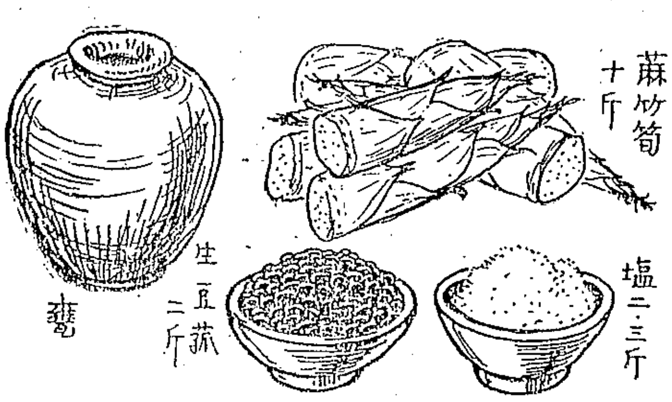
兒童的年齡可以和成人同桌吃飯的時候注意下列幾項事：1飯前洗手，保持衛生；2（食有定時）無特別理由，應每日正當三餐，疾病兒童，宜作適當的調漿；3吃時宜細嚼，不用湯水送下；4除非正餐進食不足，必需利用零食以補營養以外，不宜零食；5吃飽後，即宜停止，要糾正再吃的惡習慣；6肉，蔬菜份量宜適應選配，訓練兒童有喜吃青菜的習慣；7進餐前，除水，水果外，不宜進食，致減低食慾；8平時常飲冷開（滾）水，以助消化；9不覺飢餓時，不要過分勉強他吃，致消化不良；10油質食品不宜多吃，致延滯消化；11不要以食物來引誘兒童守秩序。

兒童睡眠的時期與次數，是按照年齡而定，二至四歲的兒童大概須要十二至十四小時的睡眠，午睡在內，五至六歲須十二小時。關於睡眠宜注意的幾項：1睡有定時而需充足；2未睡以前，應着天氣的冷熱，而決定兒童身上衣服和被褥的加減，使不致過冷過熱；3窗戶要開放，讓空氣流通，但不可使夜風直吹近床側；4睡眠時，頭應在被外；5應有早睡早起的習慣；6午睡時間不可過長而要有定時。

醬筍製造法

在各種蔬菜生產盛期中，對於可能加工的菜類加工變製後容慣貯藏，於菜類缺之時期，作為副食品，可以節省不少費用，這是注意家庭經濟的主婦們不可忽視的事項。

筍是本省土產，在生產盛期時可能一試醬製的方法：



原料：（一）竹筍十台斤；（二）製醬油用的生豆菰二台斤；（三）食鹽二或三台斤；（四）清水適量：可能十分浸濕生豆菰（生豆麴）和溶解食鹽的水量。

原料的處理：（一）竹筍：要選肉厚而不過熟的竹筍。剝去筍衣，經清水洗滌後，用利刀切成為高約四公分的筒筍或半圓形的筍片，經晒日能減少大約十分之二左右的水分；（二）生豆菰：普通是自用烏豆來製成的，現在可不需自製，向醬油廠購用，非常便利；（三）食鹽：無混合什物的上製鹽。

製造法：製造開始前要準備一個清潔的容器（甕子或木製桶），將前述的生豆菰（生豆麴）少量散布於容器底面約一公分厚，而後堆積厚約九公分的筍片，加上食鹽，再散布豆菰，筍片，食鹽，如此方法，將準備了的原料，全數連積數層至容器八、九分滿時，加上十分浸濕豆菰，溶解食鹽的清水後，用手重壓數次，加蓋密封。放置於家內三十天左右，就能成熟供為副食品或混合於其他食品中。

應注意的事項：（一）容器的加蓋要密封，免汚菌害蟲侵入以致失去醬筍特有的風味；（二）在未成熟前，晴天時應每三、四日晒一次，促其成熟；（三）成熟後每次取用時，要防止污物等混入，用後再加蓋密封；（四）完全固封的醬筍，可能貯藏至一年以上的時間（兒全一

子供の食事と睡眠

幸福をもたらすばかりで無く、國家の將來のためにも、主婦としておろそかに出來ない問題である。我が子を丈夫に育てあげ、立派に教育して、人の爲になる事業に從事させるのが主婦の責任であり、苦勞も多いだらうが、それ丈また報いられる事も多いと思ふ。子供の教育と健康については一言に云ひつくせないから、こゝでは子供の食事と睡眠の問題について述べる。

節制の無い食事は子供の健康に一番惡い。食べ過ぎると不消化になり、食事の量が少すぎると子供の發育によくない。故に家庭の主婦は子供の食事の量と質を合理的に決めて、食事については子供に良い習慣をつけさせなければならない。大人と一緒に子供が食事をする場合、左記の事に注意して頂きたい。

（一）食事前に手を洗ふ様に習慣をつけること。（二）特別の理由の無い限り、毎日三食、定つた時間に、食事をさせること。（子供が病氣の時は適當に變更する）（三）食物をよく嚙んで、御飯などにお湯をかけて呑み込まない様に習慣をつけること。（四）三度の食事が進まない爲、間食をとる必要がある以外は、間食を與へないこと。（五）食事は腹八分にさせて、食事後すぐにまた食物を要求する様な惡習慣をつけさせないこと。（六）肉と野菜の分量を適度に分配して、野菜を喜んで食べる様な習慣をつけさせること。（七）食事前に、水、果物以外のものは食べさせないこと。（八）水はお湯を冷させたものを呑ませた方が、衛生にも消化にも良い。（九）腹のすいてゐない時は、無理に食べさせないこと。（十）油つぽいものは消化不良になる。無理に食べると消化不良になるから過度に與へないこと。（十一）美味しいものなどを餌にして子供をしつけないこと。

子供の睡眠の時間は、年によつて一定してゐない。二歲から四歲までの子供は、晝寢を合せて、十二—十四時間の睡眠が必要で、五、六歲になると十二時間で充分である。睡眠について注意すべきことは、（一）睡眠時間を決めて充分にとらせること。（二）寢る前に天氣の暑さ……て、空氣の流通を良くする。但し枕もとに吹き込む直接風は避けた方が良い。（四）寢てゐる時は頭をフトンの外に出させること。（五）早寢早起の習慣をつけさせること。（六）晝寢は長すぎない様に、一定の時間を決めること。

新興の絹織もの「香雲紗」

臺灣の棉産量は少く、衣服の原料はどうしても毎年外國から輸入しなければならない。中國紡織建設公司では農復會から四萬圓の援助資金を得て、日本から紡織機を購入して苗栗に紡織工場を建てたが、それと云ふのも本省産の生絲（蠶の絲）を利用して、香雲紗を織り一般の需要に供するのが目的である。

香雲紗の種類：香雲紗の原産は廣東であるが、香雲紗にも二種ある。一種は著色してゐない絹で織つたもので、もう一種は著色した絹で織つたものである。最近臺灣で織つてゐる香雲紗は前の二種より生地が少し厚いが、品質と製法は完全に同じである。

製造法：絹（緞子の如きもの）にしても紗にしても原料はみな生絲の如きものである。我が國內地では蠶業が盛んなので生絲の産出が多い。臺灣もそれが發達すれば、これから刺激されて需要が増加すると思はれる。原料としての生絲の外に、紗も絹も必要である。香雲紗の原料としては廣東珠江の三角洲一帶の河泥を用ゐたが、臺灣では河泥の中に砂が多すぎるので、皂礬を使つてゐる。香雲紗の製造法は先づ生絲で絹に織つてから、薯莨汁の中に浸しておく、暫くしてから取出して、これを陽に乾す。この様な事を二、三十回繰り返へすと、絹の色が暗紅色に染まる。その後、別に皂礬（廣東では河泥を用ふ）をこの紅色の面に塗りつけると、暫くして光澤のある黑色に變つて、この面が香雲紗が出來たわけである。

香雲紗の經濟價値：（一）香雲紗を織るとなると、生絲の需要が増加するので、農民や山地同胞の蠶業を促進して、農村經濟を改善できる。（二）山地同胞にとつては、薪炭を賣つて活す必要が無く、山林を保護することにもなる。（三）毎年千百萬米ドルに達する巨額な